４月２４日「チェルノブイリ事故３５周年の集い」延期のお知らせ

チェルノブイリ事故 35 周年の集い　フクシマ10年と結んで

日時：７月４日（日）14:00~16:30
場所：大阪市立総合生涯学習センター　　第１研修室

〒591-8021 堺市北区新金岡町 1-3-15-102 猪又方☎ 0797-74-6091 田中、072-253-4644 猪又
e-mail: cherno-kansai@titan.ocn.ne.jp

新型コロナウイルス変異株による感染拡大が続く中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年も、この時期に感染拡大が進み、例年開催している「チェルノブイリ事故３４周年の集い」を延期し、最終的には中止を余儀なくされました。今年は「フクシマ１０年」とも繋ぐ催しとして、会場とオンライン（Zoom）の同時開催で、なんとか４月のこの時期に「チェルノブイリ事故３５周年の集い」を持ちたいと思い、間際まで様子を見ていましたが、「変異株」の感染拡大を侮ることはできず、やはり延期せざるを得ないと判断しました。直前のお知らせとなり恐縮ですが、よろしくご了承くださいませ。

「チェルノブイリ３５周年の集い」は７月４日（日）に延期し、同会場（「救援関西」主催・於：大阪市立総合生涯学習センター）、できれば会場とオンライン（Zoom）の並行で開催したいと思います。既にご案内しています「なみえ母娘避難物語～私は帰らない」（動く紙芝居アニメ・DVD 上映）など、同様のプログラムを予定しています。詳細は、また後日お知らせ致します。

尚、「集い」で提案・議論する予定だった「チェルノブイリ３５年・フクシマ１０年」に際して「国連人権理事会」へ提出をめざす「声明文(written statement)」（案）については、「救援関西」運営会議で議論を深め、皆様にも後日提案できるように作業を進めます。

感染拡大で国民生活がこれまで以上に制約を受けている中、日本政府は漁業者をはじめ多くの人々の反対を押し切って、「トリチウム汚染水」（ALPS 処理水）の海洋放出の方針決定を強行しました。許しがたいことです。私たちはこのような暴挙に抗議・反対し、引き続きチェルノブイリとフクシマを結んで、原発重大事故を繰返させない、事故被害者の人権と補償の確立を、そして「核時代」の終わりの始まりをめざして、皆さまと共に活動を続けたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2021 年４月１８日　　チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西事務局